



2026年3月期 第1四半期 決算説明会

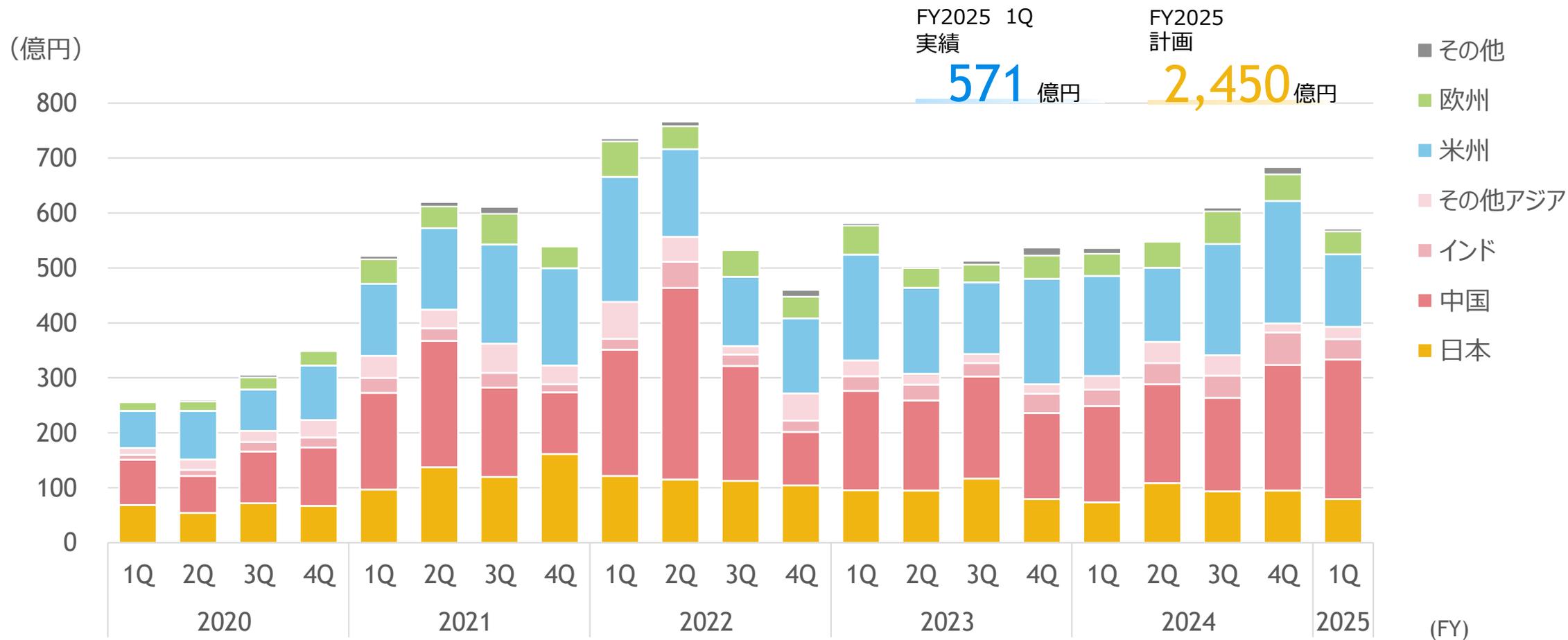
株式会社 牧野フライス製作所
2025年7月31日

受注

Orders

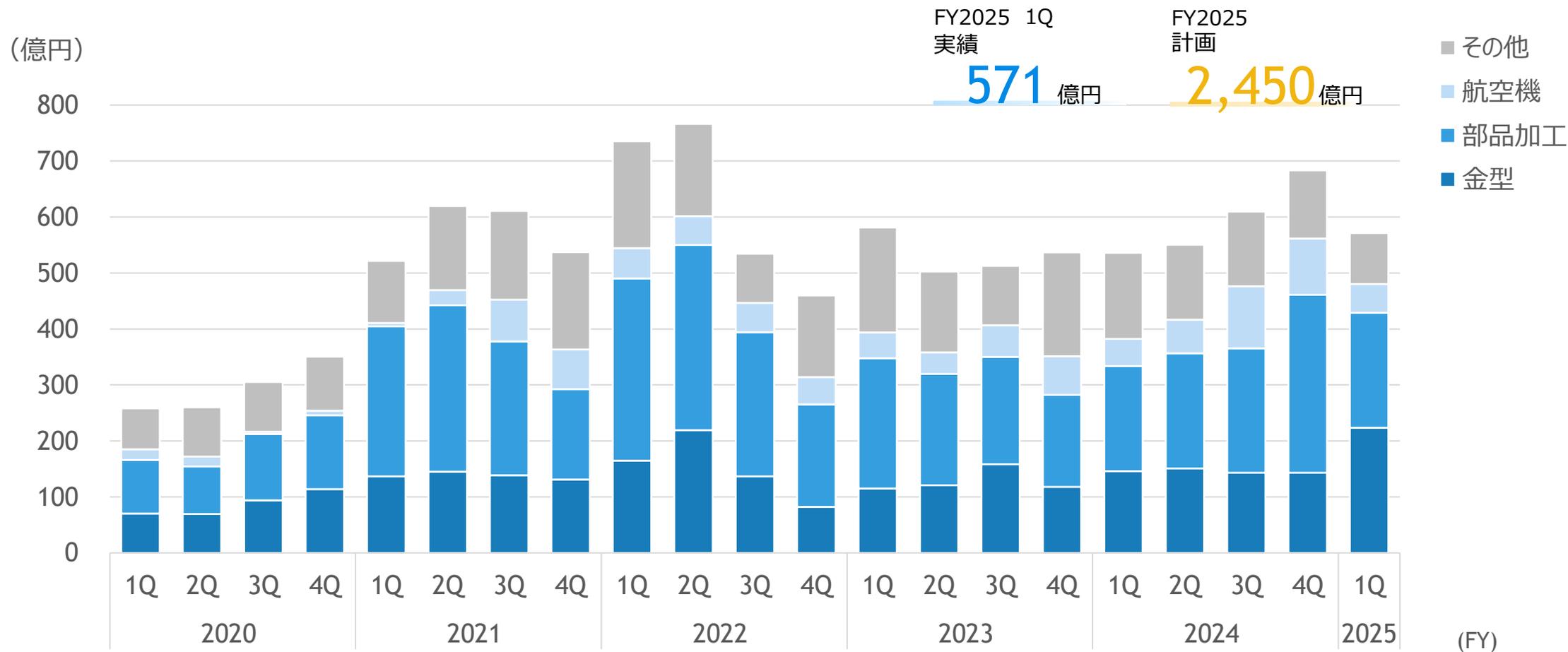


中国向けを中心に前年同期比6.6%増加





金型向けが前年同期比で大きく増加

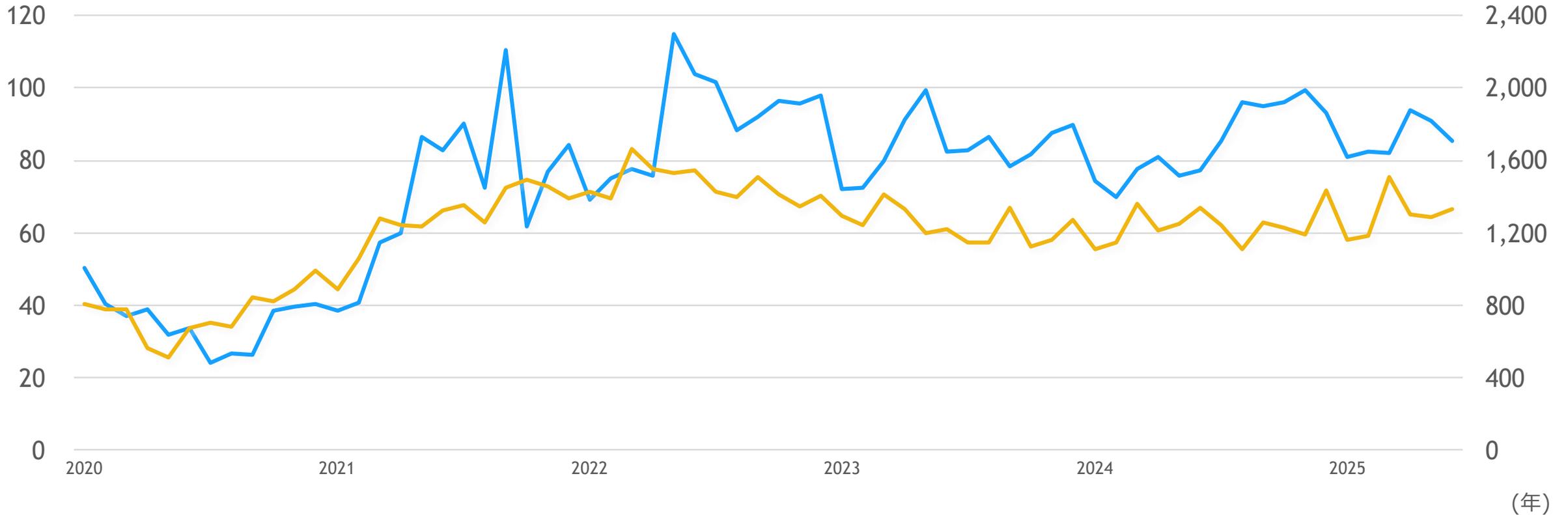




第1四半期のシェアは、6.9%

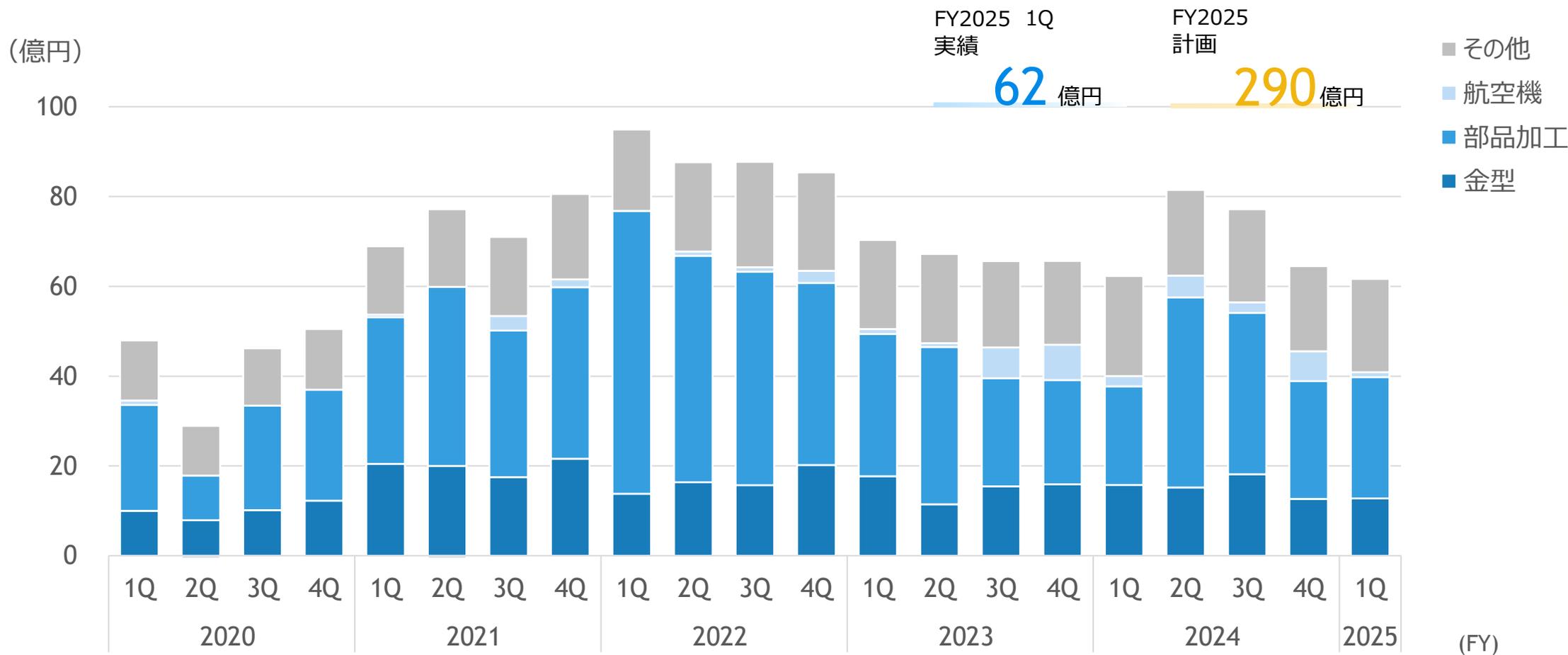
牧野フライス

(億円)





産業機械を中心に、部品加工向け受注が継続





全地域において前年同期比で増加

(百万シンガポールドル)

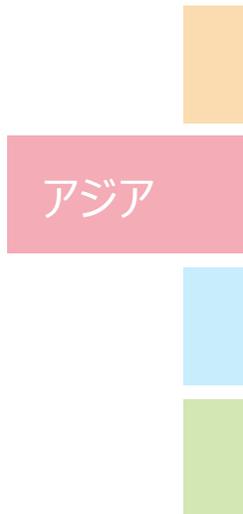
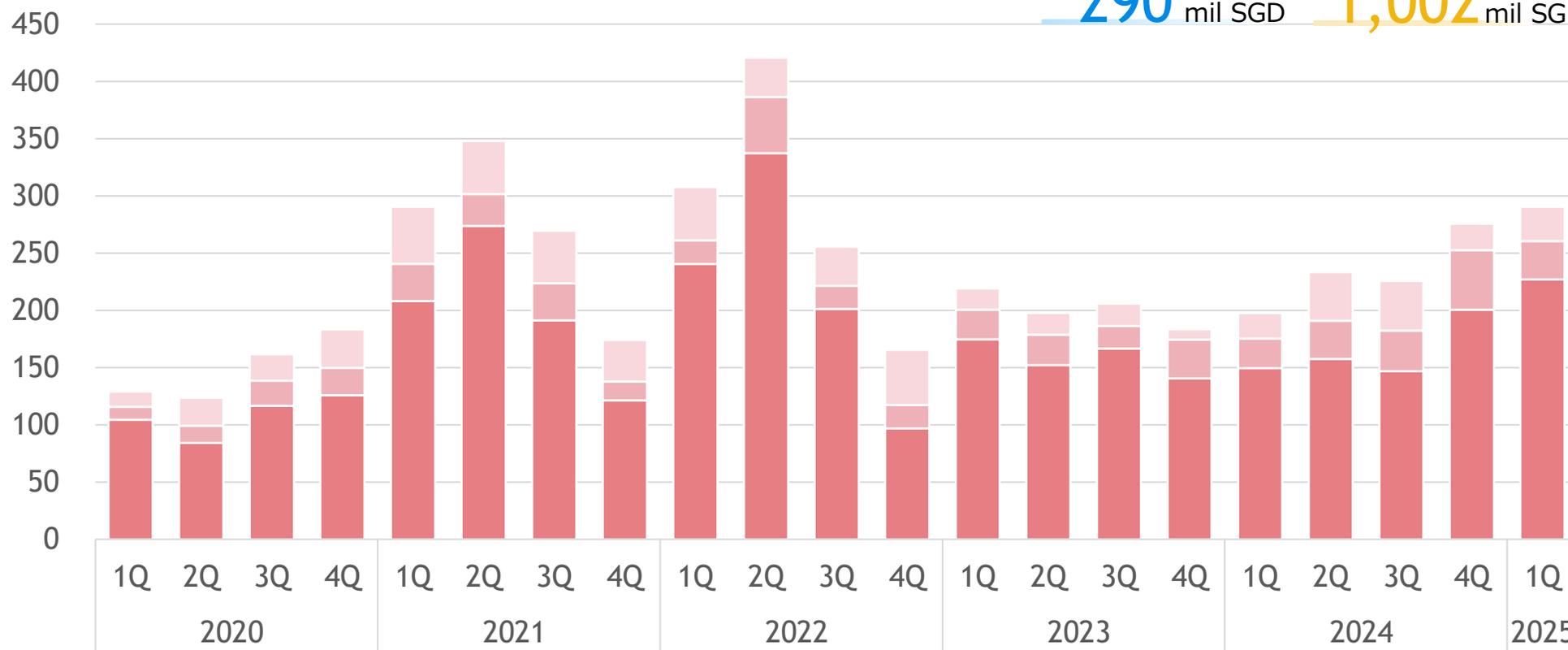
FY2025 1Q
実績

290 mil SGD

FY2025
計画

1,002 mil SGD

- その他の地域
- インド
- 中国





自動車部品向け、電気・電子部品向けを中心に金型向けが増加

(百万シンガポールドル)

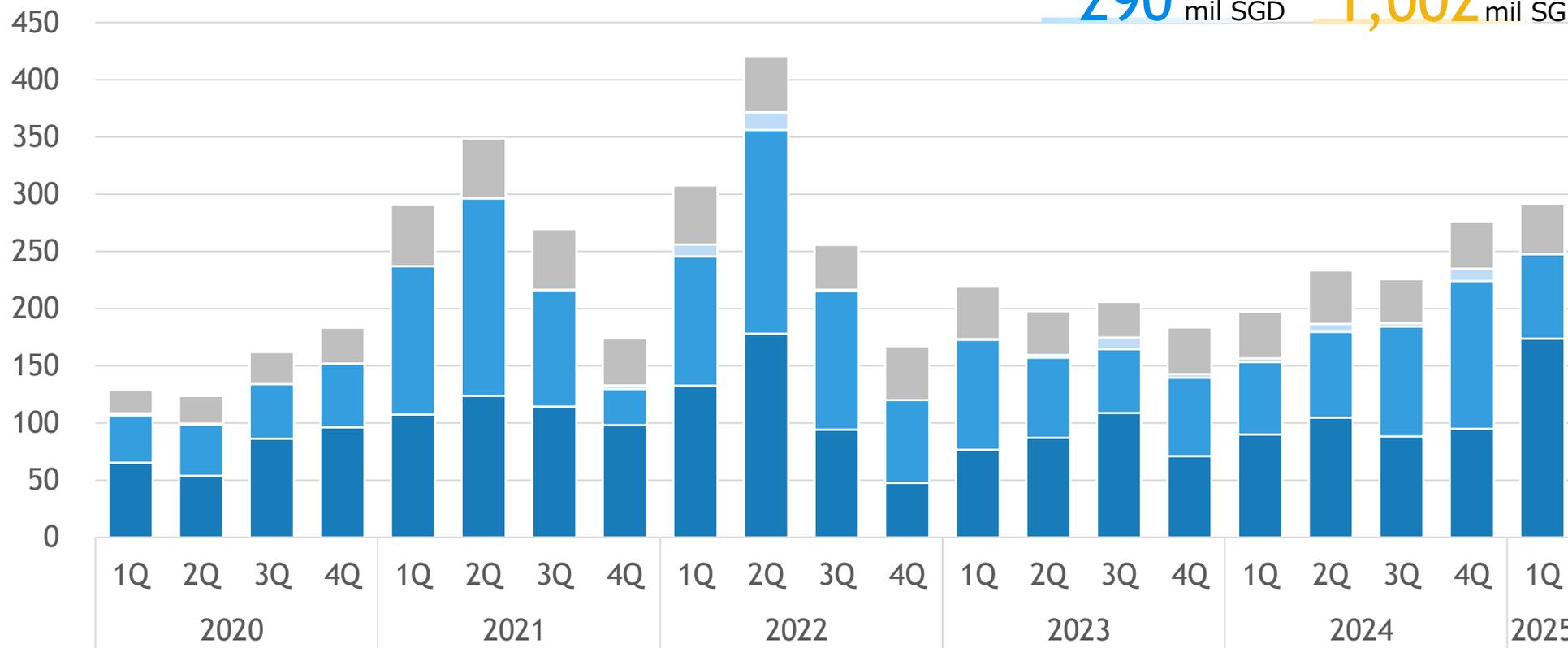
FY2025 1Q
実績

290 mil SGD

FY2025
計画

1,002 mil SGD

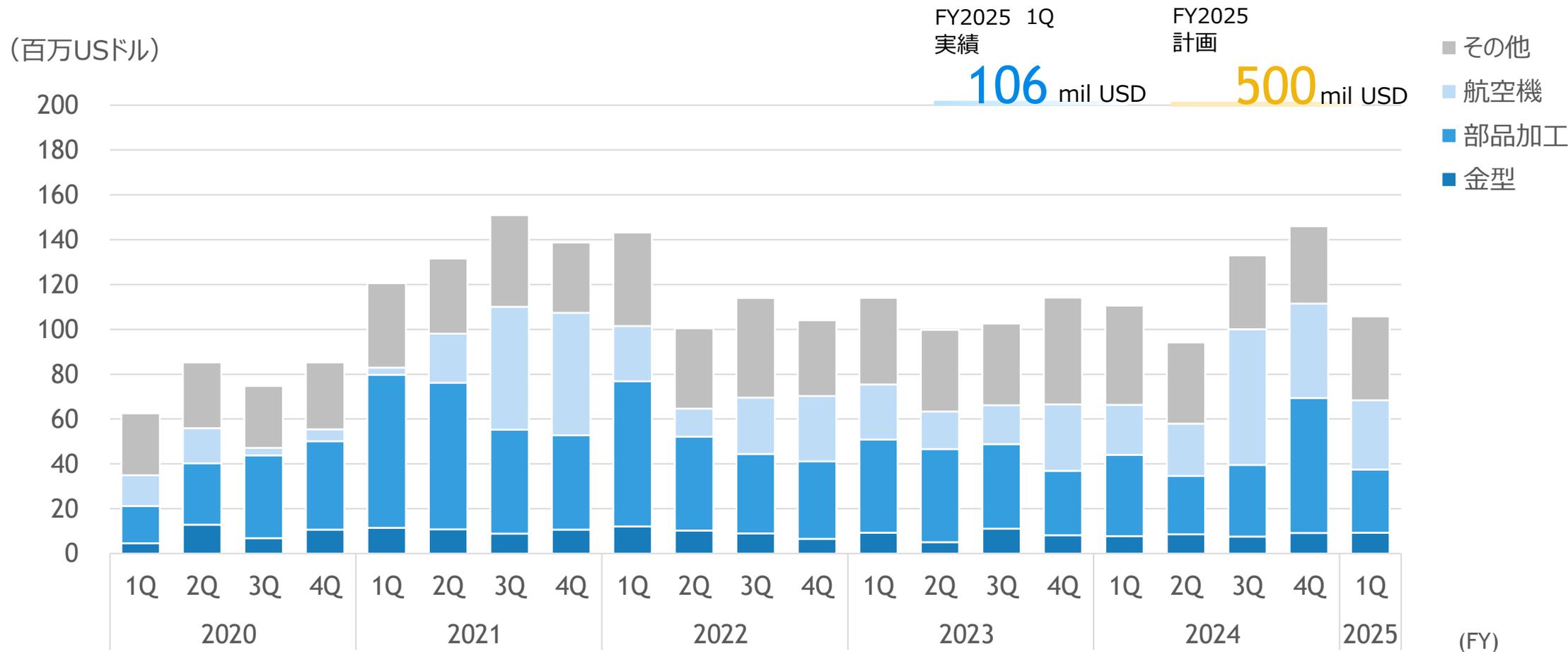
- その他
- 航空機
- 部品加工
- 金型



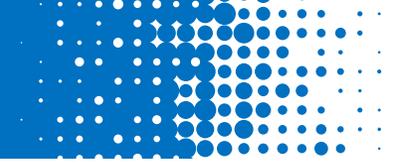
アジア



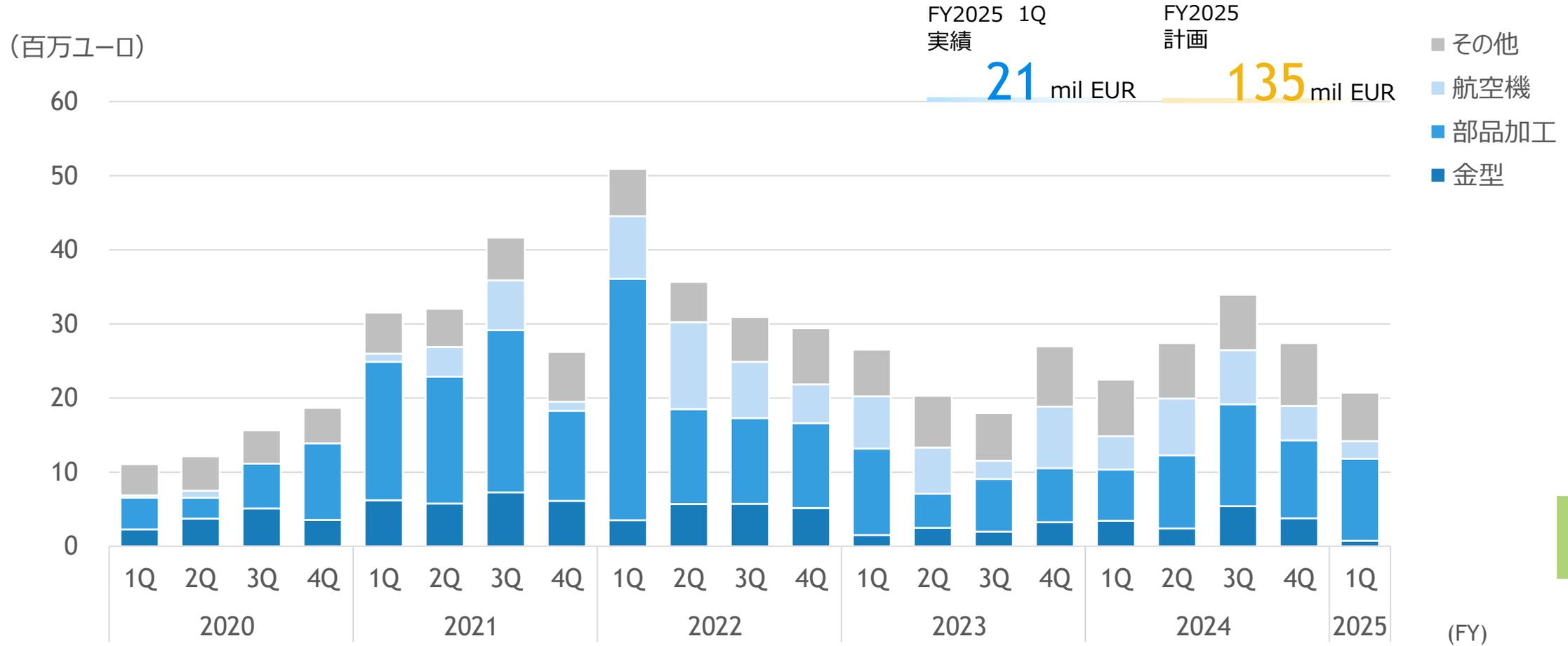
航空宇宙向けの受注が堅調に推移



アメリカ



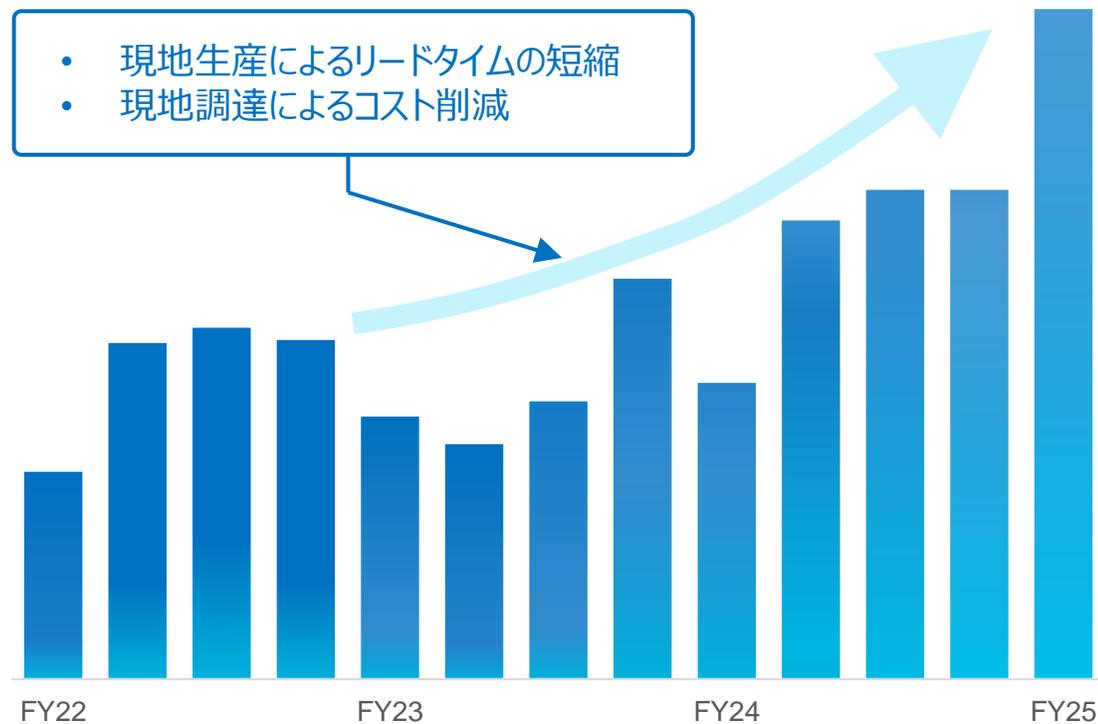
航空機向け、金型向けを中心に前年同期比で減少



ヨーロッパ

市場ニーズの変化に対応すべく生産体制を強化

武漢工場 生産台数推移



ラインナップの拡充



立形MC
Slim3n



立形MC
PS65



横形MC
JA6



立形MC
Slim8n



横形MC
JH5

ベトナム新工場稼働（アジア地域の生産キャパシティ増強）



2025年8月下旬より生産開始

シンガポール工場や中国の各工場へ、機械を構成する「ユニット」の組立・供給
 主なユニット：fシリーズの強電盤・放電加工機のATC（自動工具交換装置）

今後の需要増に向け様々な強化を実施

本社リノベーション



ショールーム強化

- 航空宇宙や医療向けの実機の充実
- 自動化システムや加工サンプル品及び案内動画強化

部品倉庫強化

- 部品倉庫のレイアウトを最適化し、スペース効率性を向上
- 小物部品用の自動倉庫を導入し、搬入・搬出の効率化

主軸保守施設強化

- 設備の刷新による生産性向上
- 物流動線を考慮し、保守ルームを移設

提案強化（航空宇宙 / 自動車）

難削材加工用マシニングセンタ T1

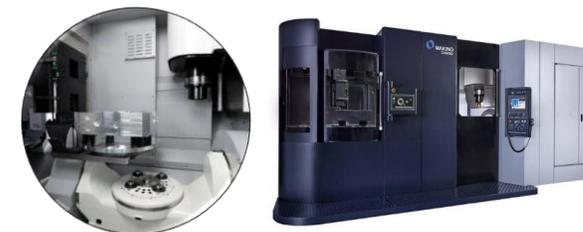
- チタン合金、インコネル、ステンレスなどの難削材加工に最適な5軸制御横形マシニングセンタ T1



5軸制御立形マシニングセンタ DA500 PM*仕様

- 大規模システムだけでなく、セル単体での自動化提案も可能

*パレットマガジン

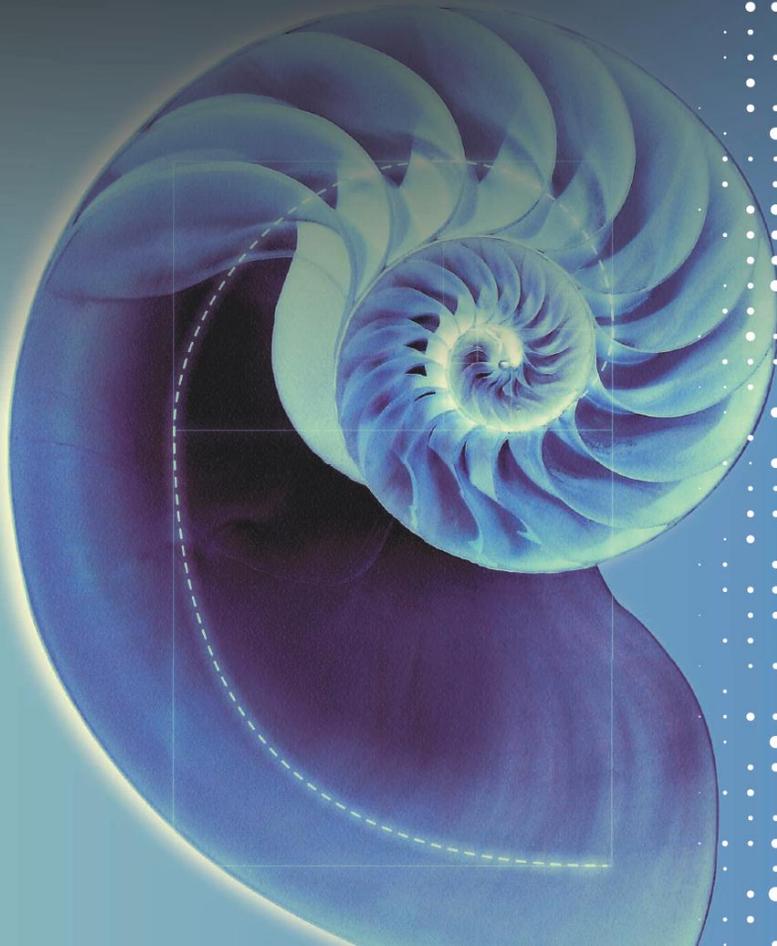


エンジニアリング

- お客様のニーズに合わせ、自動化や加工サポートを提供



Precision is
our nature



EMO Hannover 2025

2025年9月22日 ~ 9月26日
@ ハノーバー国際見本市会場



— 5軸制御横形マシニングセンタ

New

→ 牧野フライス製 最新機種



— 立形マシニングセンタ f6

New

→ Makino Asia製 最新機種



— 5軸制御立形マシニングセンタ DA500

→ 自動化 / 半導体製造装置 etc ...



当社製品・サービスを利用されるお客様の用途別に、次の通り分類しております。

金 型 : 主にプラスチックやダイキャスト製品などを成型する金型の加工向け

部品加工 : 自動車部品をはじめ、製品・機器に使用される部品の加工向け
(航空機以外)

航空機 : 航空機及び宇宙関連の部品加工向け



財務

Finances



前年同期比で増収、営業利益は増益も当期純利益は減益

(百万円)	25年3月期 実績 (24.4.1~24.6.30)	26年3月期 実績 (25.4.1~25.6.30)	差引増減 (増減率)	26年3月期 予想	
				上期(25.4.1~25.9.30)	進捗率
売上高	51,868	55,397	3,529 (6.8%)	115,700	47.9%
営業利益 (営業利益率)	2,959 (5.7%)	3,201 (5.8%)	241 (8.2%)	9,000 (7.8%)	35.6%
経常利益 (経常利益率)	3,817 (7.4%)	3,684 (6.7%)	△ 133 (△3.5%)	9,200 (8.0%)	40.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (純利益率)	3,236 (6.2%)	1,247 (2.3%)	△ 1,988 (△61.5%)	8,700 (7.5%)	14.3%
為替レート					
USD	155.88	144.59		141.00	
EUR	167.88	163.80		161.00	
SGD	115.21	111.11		108.00	



アジアセグメントが大幅に売上増、アメリカセグメントでは外貨ベースでは売上横ばい

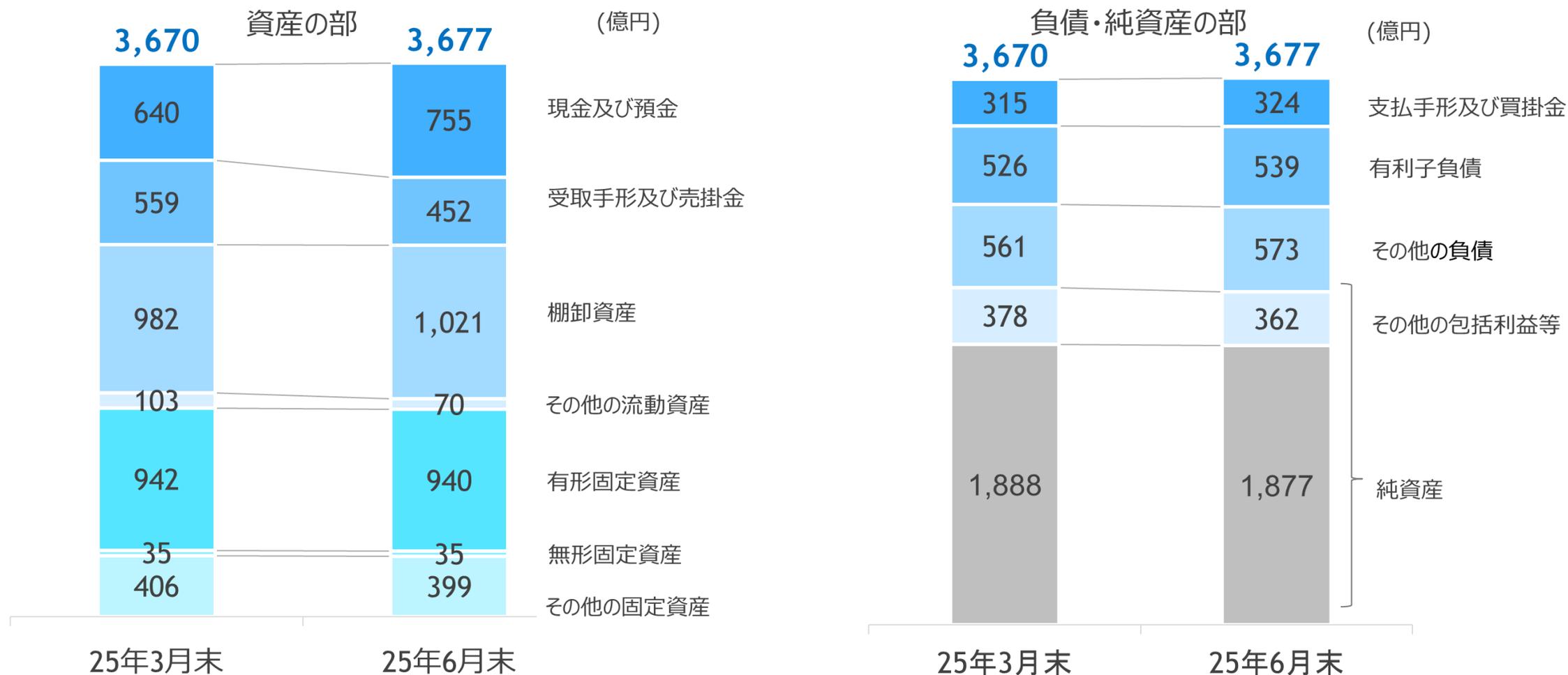
(百万円)		I 日本	II アジア	III アメリカ	IV ヨーロッパ	消去	連結
【当期】 25年6月	売上高 (外貨)	25,083	31,599 (277,201)	15,376 (106,348)	2,431 (14,843)	- 19,093	55,397
	営業利益/損失	544	1,536	554	△ 623	1,189	3,201
【前期】 24年6月	売上高 (外貨)	29,196	23,278 (197,101)	16,623 (106,643)	4,380 (26,091)	- 21,610	51,868
	営業利益/損失	2,667	524	927	△ 219	- 940	2,959
【前々期】 23年6月	売上高 (外貨)	32,068	21,700 (202,646)	18,289 (133,144)	4,055 (27,133)	- 22,263	53,850
	営業利益/損失	2,042	842	1,668	△ 505	219	4,266



アジア地域の売上が全体の売上に寄与

(百万円)		日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	合計
【当期】 25年6月	売上高	6,052	30,001	15,030	2,733	1,581	55,397
	比率	10.9%	54.2%	27.1%	4.9%	2.9%	
【前期】 24年6月	売上高	7,482	22,800	16,662	4,401	521	51,868
	比率	14.4%	43.9%	32.1%	8.4%	1.0%	
【前々期】 23年6月	売上高	9,523	20,948	18,120	4,292	966	53,850
	比率	17.6%	38.9%	33.6%	7.9%	1.7%	

売上債権の回収が進み現預金は25年3月末より115億円増加

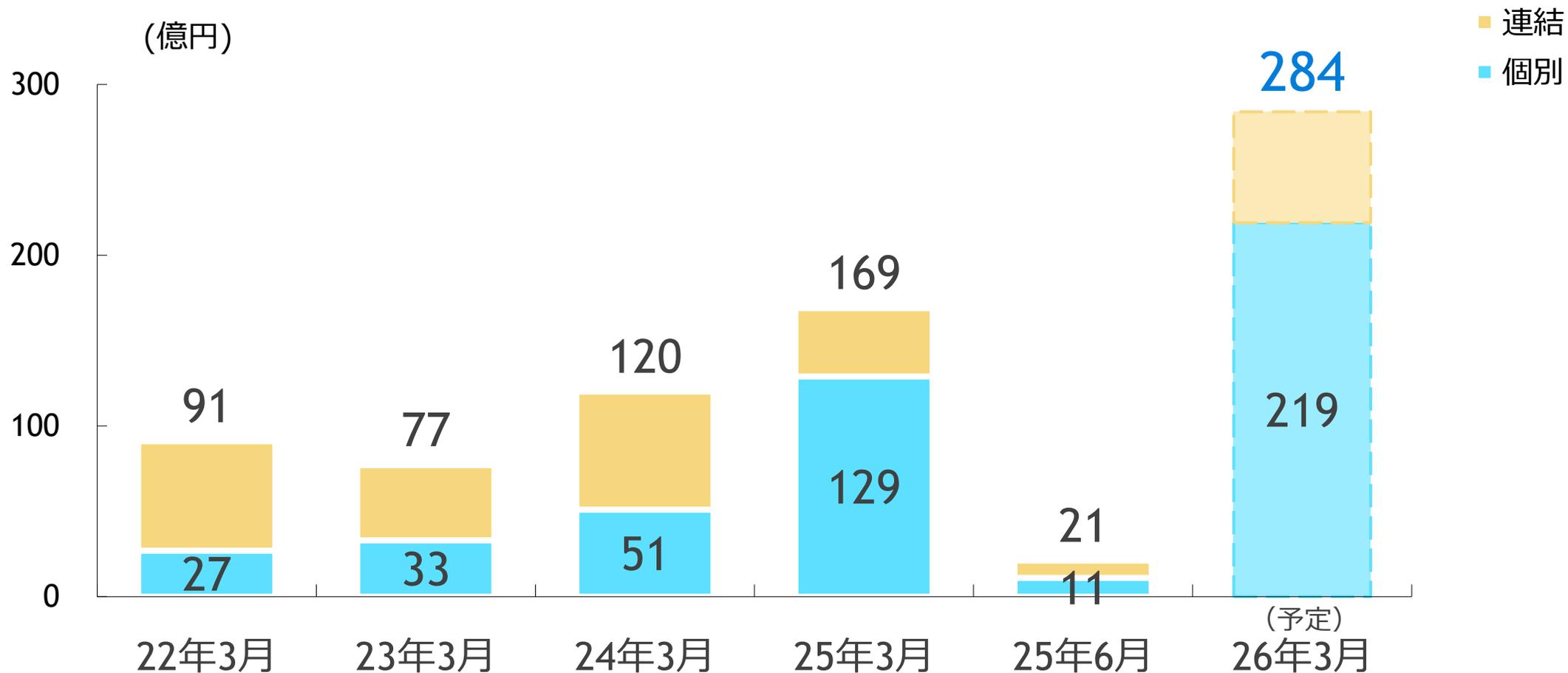


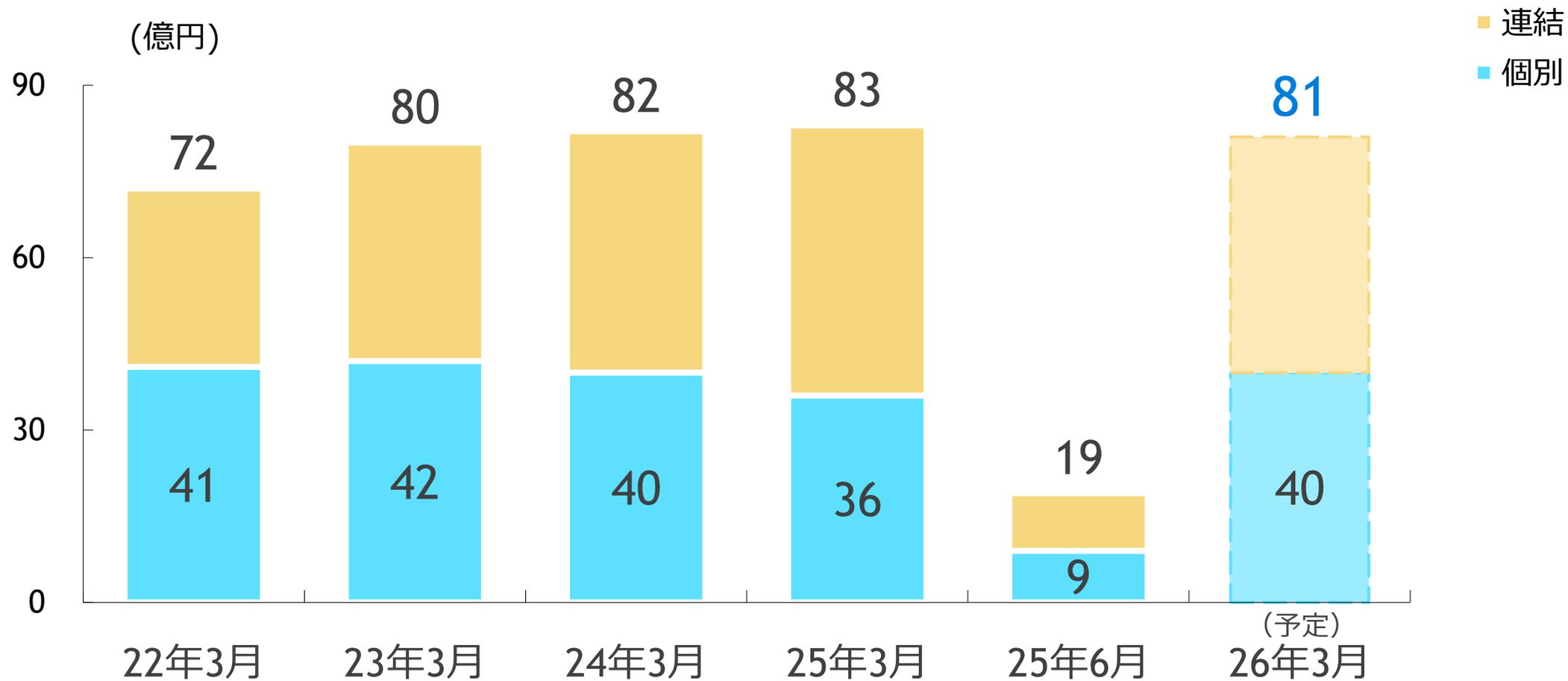


株主還元および設備投資を実施しつつ営業キャッシュ・フローが現預金増加に寄与

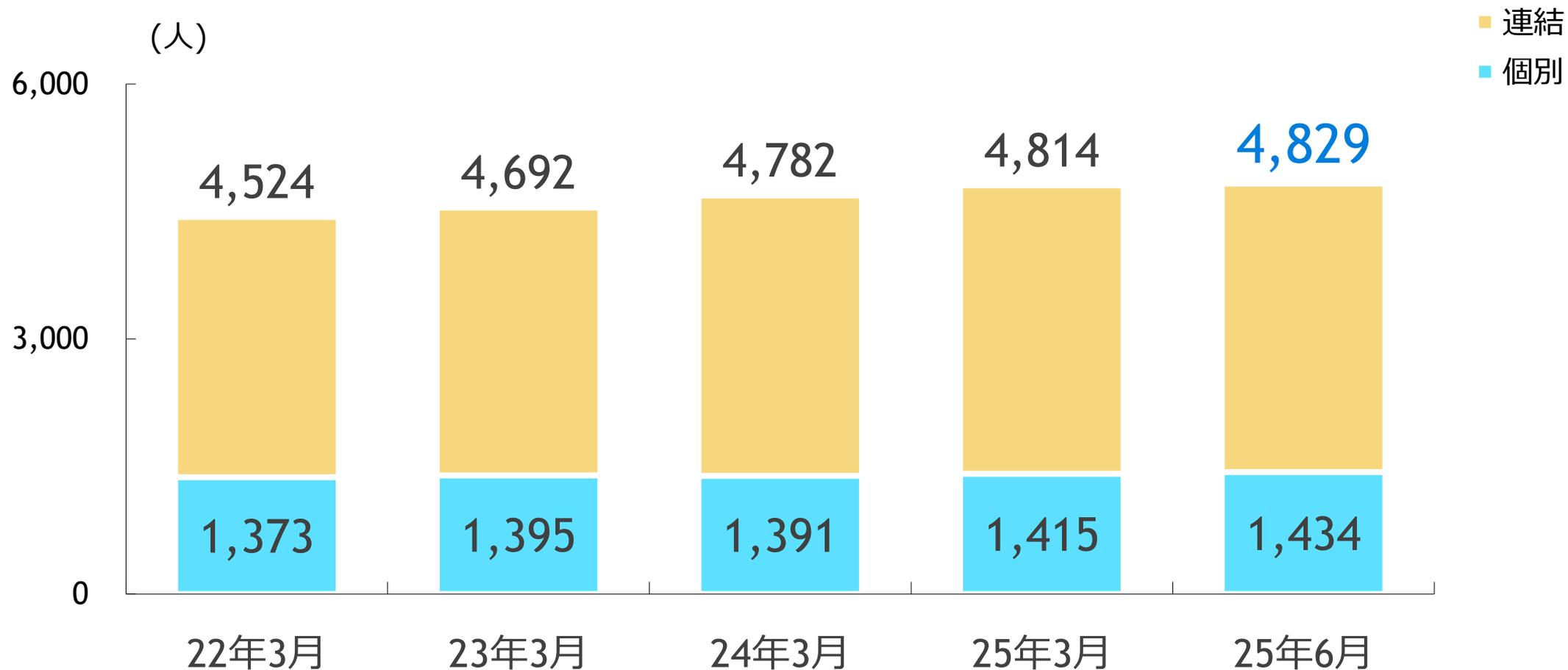
	(百万円)	
	25年3月期 (24.4.1~24.6.30)	26年3月期 (25.4.1~25.6.30)
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	6,986	16,734
税金等調整前当期純利益	4,065	2,676
減価償却費	2,022	1,930
運転資本の増減	△ 1,623	7,450
その他	2,521	4,678
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,385	△ 2,583
有形固定資産の取得による支出	△ 5,130	△ 2,453
その他	△ 254	△ 130
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	651	△ 1,391
自己株式の取得による支出	△ 306	△ 1
配当金の支払額	△ 1,860	△ 2,307
その他	2,818	917
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,288	△ 1,233
現金及び現金同等物に係る期首残高	72,578	64,067
現金及び現金同等物に係る期末残高	77,119	75,593

26年3月期は国内を中心に284億円の設備投資を計画





製造部門の人員を中心に前期末より15名の増員を実施





(百万円)	26年3月期 実績	26年3月期 予想		
	1Q (25.4.1~25.6.30)	2Q (25.7.1~25.9.30)	上期 (25.4.1~25.9.30)	通期 (25.4.1~26.3.31)
売上高	55,397	60,303	115,700	240,000
営業利益 (営業利益率)	3,201 (5.8%)	5,799 (9.6%)	9,000 (7.8%)	21,500 (9.0%)
経常利益 (経常利益率)	3,684 (6.7%)	5,516 (9.1%)	9,200 (8.0%)	22,000 (9.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (純利益率)	1,247 (2.3%)	7,453 (12.4%)	8,700 (7.5%)	18,000 (7.5%)

Quality First

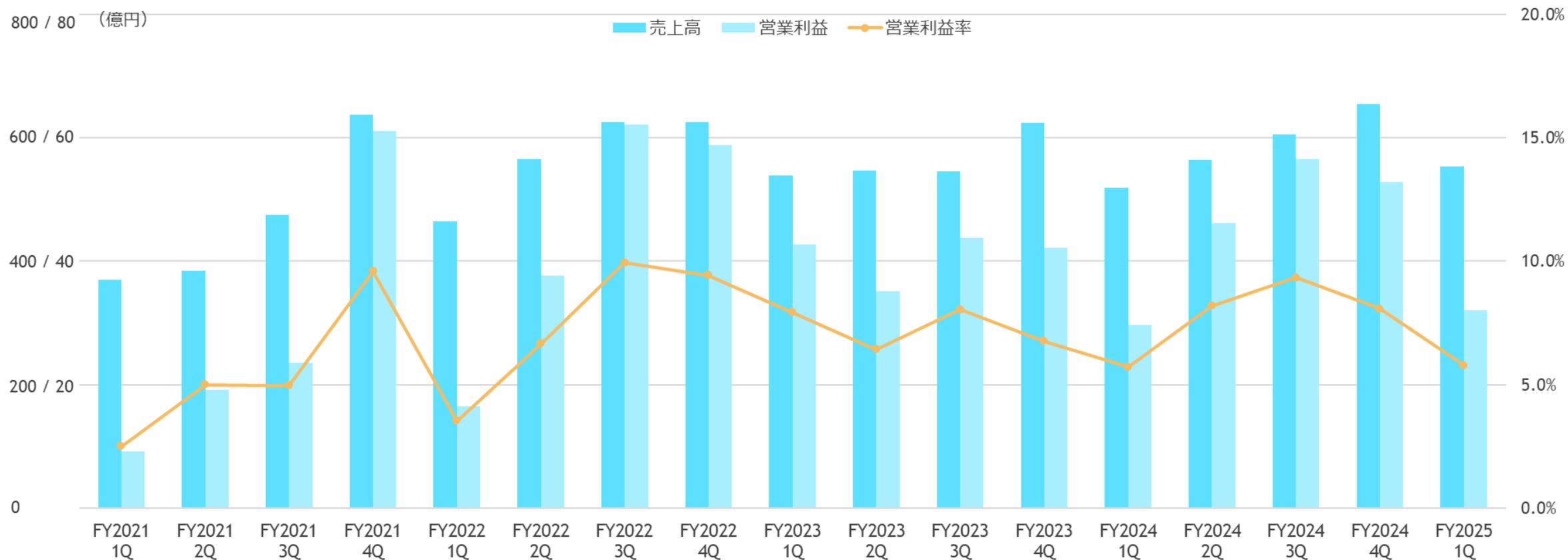
信頼こそ企業の存立基盤です。
マキノは、使う人、売る人、作る人、
みんなが信頼しあえることを願い、
すべての製品とサービス、自らの組織と社員のあり方において、
『クオリティ・ファースト』を追求します。



ご参考資料

Reference Materials

売上高と営業利益



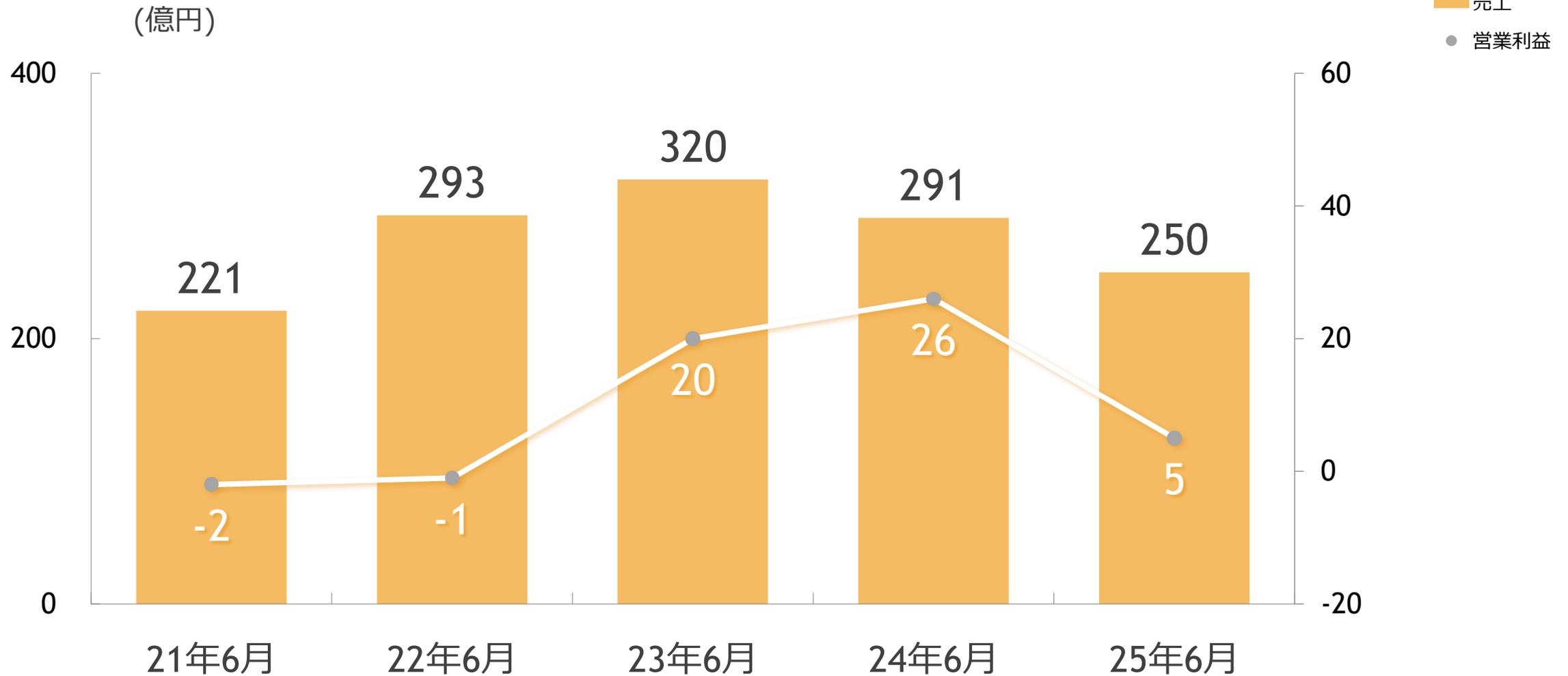
USD	109.49	109.80	111.10	112.38	129.57	133.97	136.51	135.47	137.37	141.00	143.29	144.62	155.88	152.63	152.57	152.58	144.59
EUR	131.96	130.90	130.62	130.56	138.12	138.73	140.59	140.97	149.47	153.39	155.29	156.80	167.88	165.95	164.83	163.75	163.80
SGD	82.16	81.80	82.46	83.33	94.09	96.55	98.36	98.62	102.54	104.85	106.42	107.52	115.21	114.16	114.25	113.99	111.11

為替レートの変動による売上高・営業利益の増減額

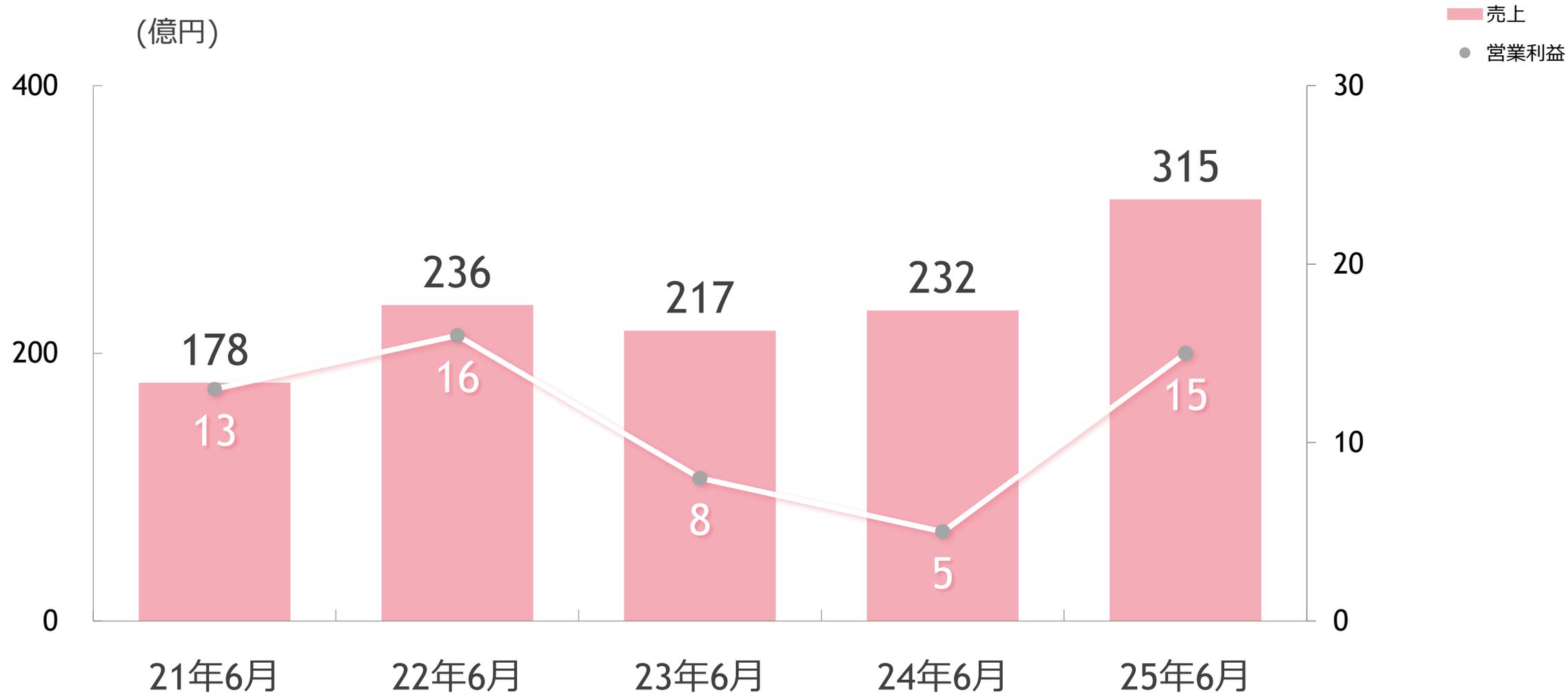


		26年3月期 (25.4.1~25.6.30)		(百万円)	
		外部売上高	為替レート (前年同期)	売上高の増減	営業利益の 増減
USD	USD 106M	144.59 (155.88)	△ 1,193	△ 434	
EUR	EUR 15M	163.80 (167.88)	△ 60	△ 13	
SGD	SGD 262M	111.11 (115.21)	△ 1,072	△ 54	
		合計	△ 2,325	△ 501	

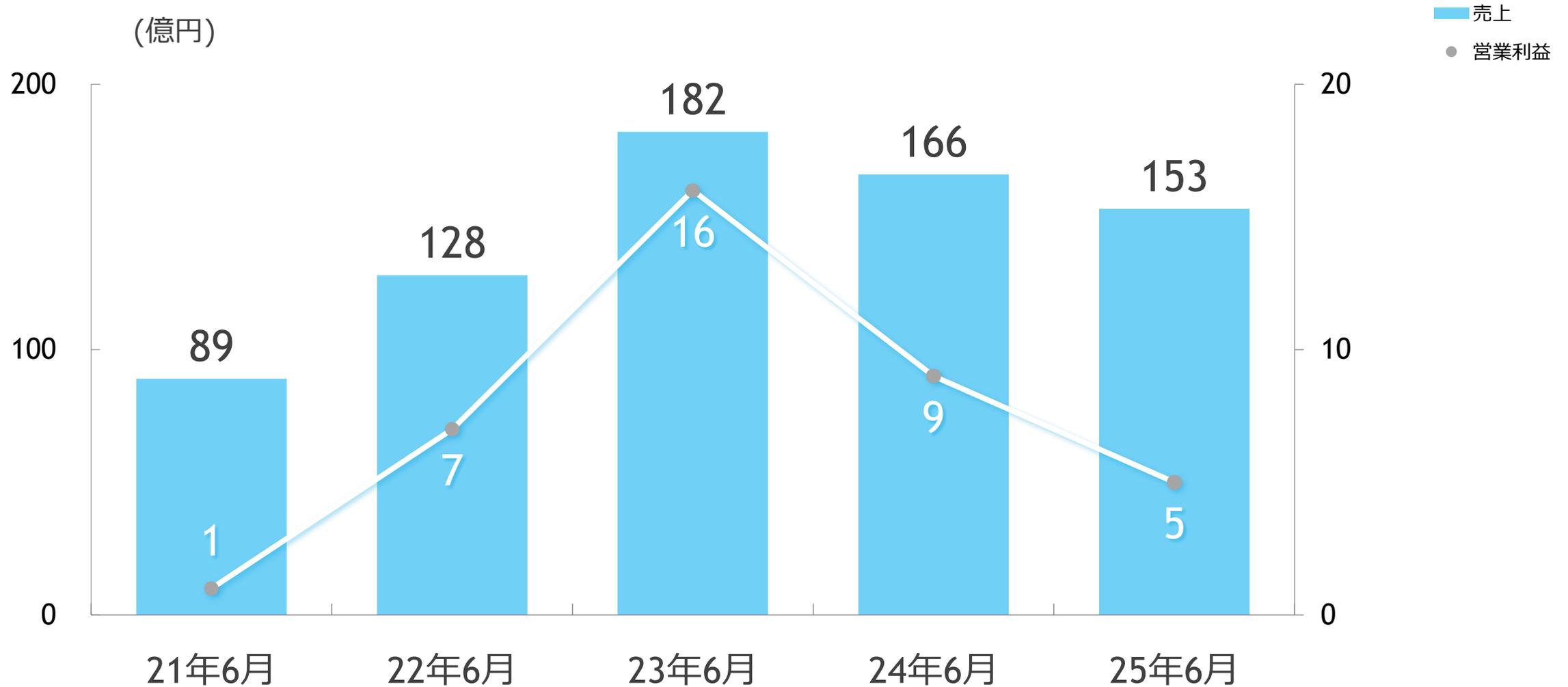
売上高と営業利益（報告セグメント別） -セグメントⅠ-



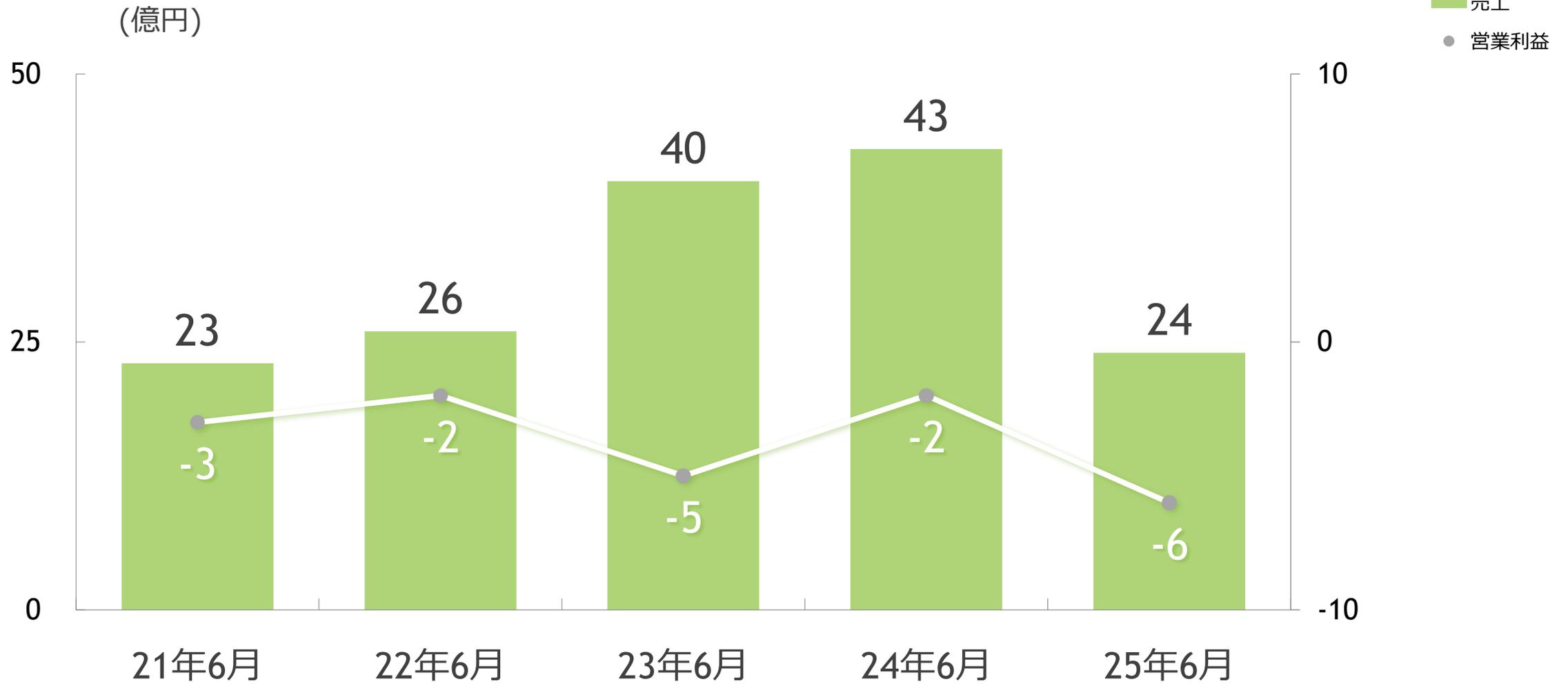
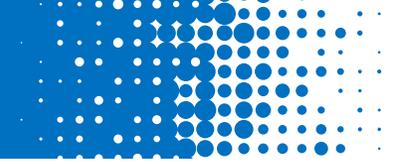
売上高と営業利益（報告セグメント別） -セグメントⅡ-

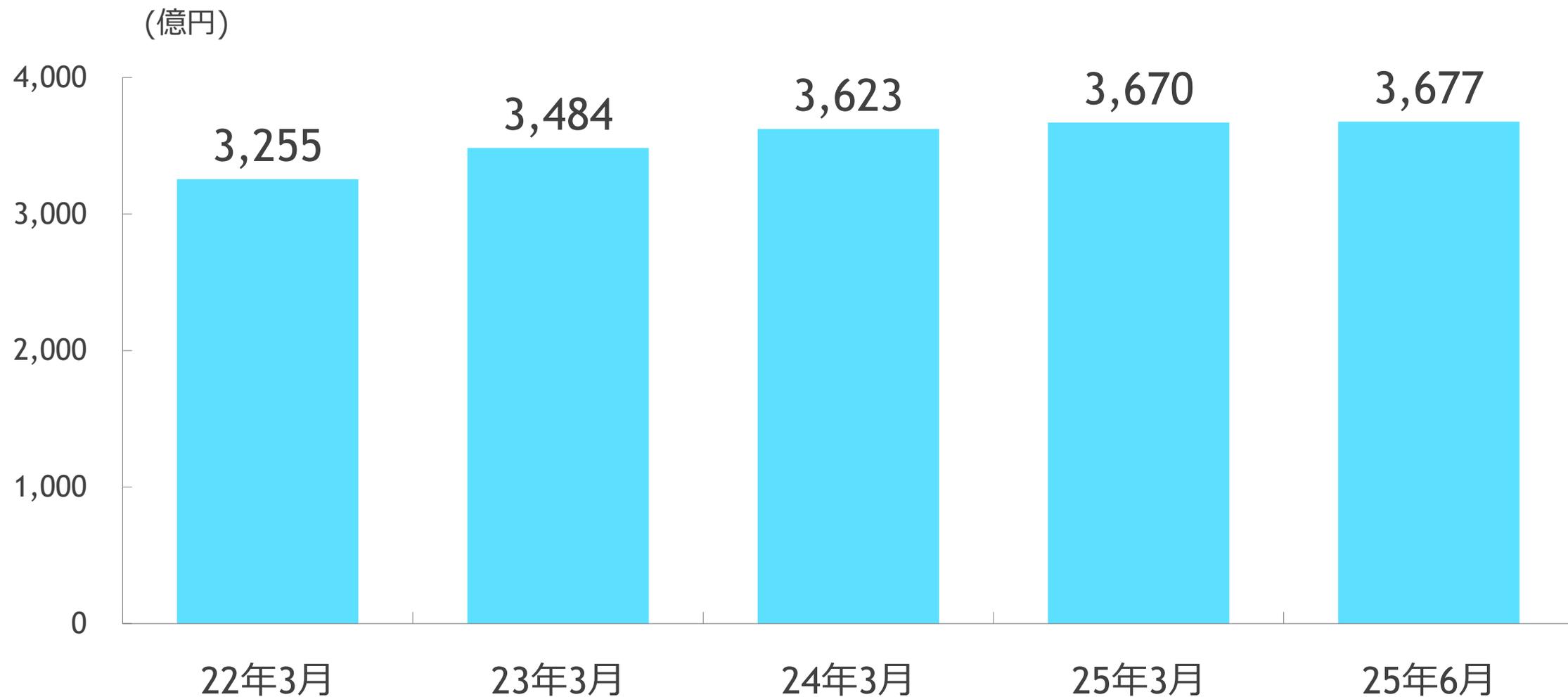


売上高と営業利益（報告セグメント別） -セグメントⅢ-

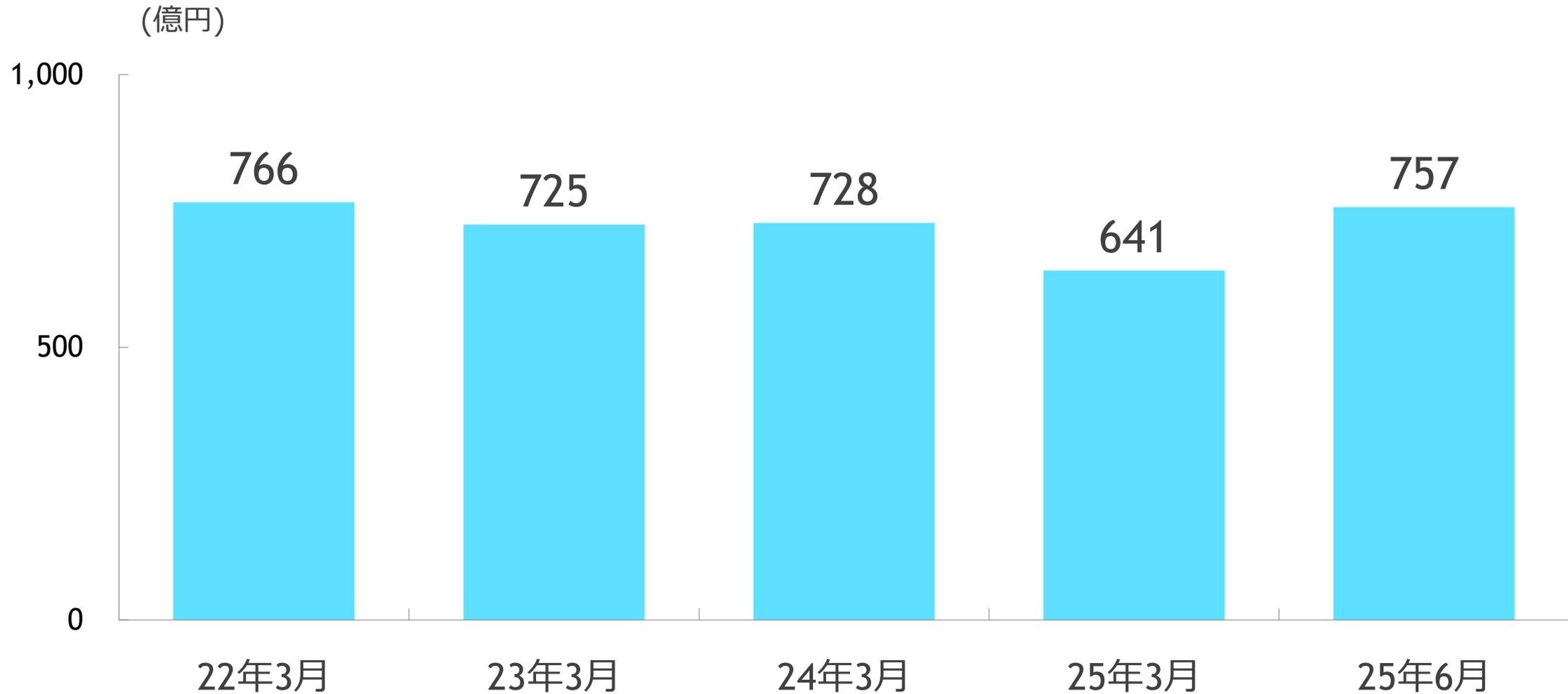


売上高と営業利益（報告セグメント別） -セグメントIV-

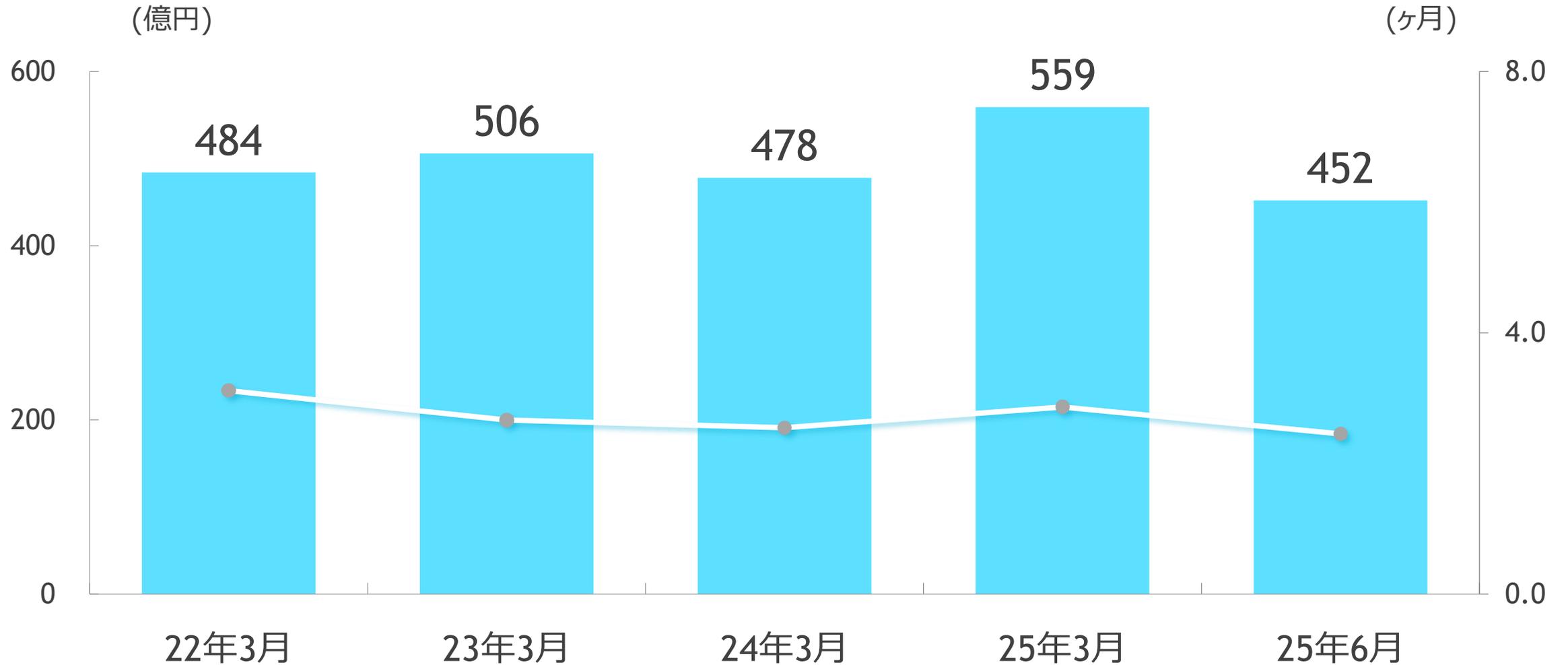




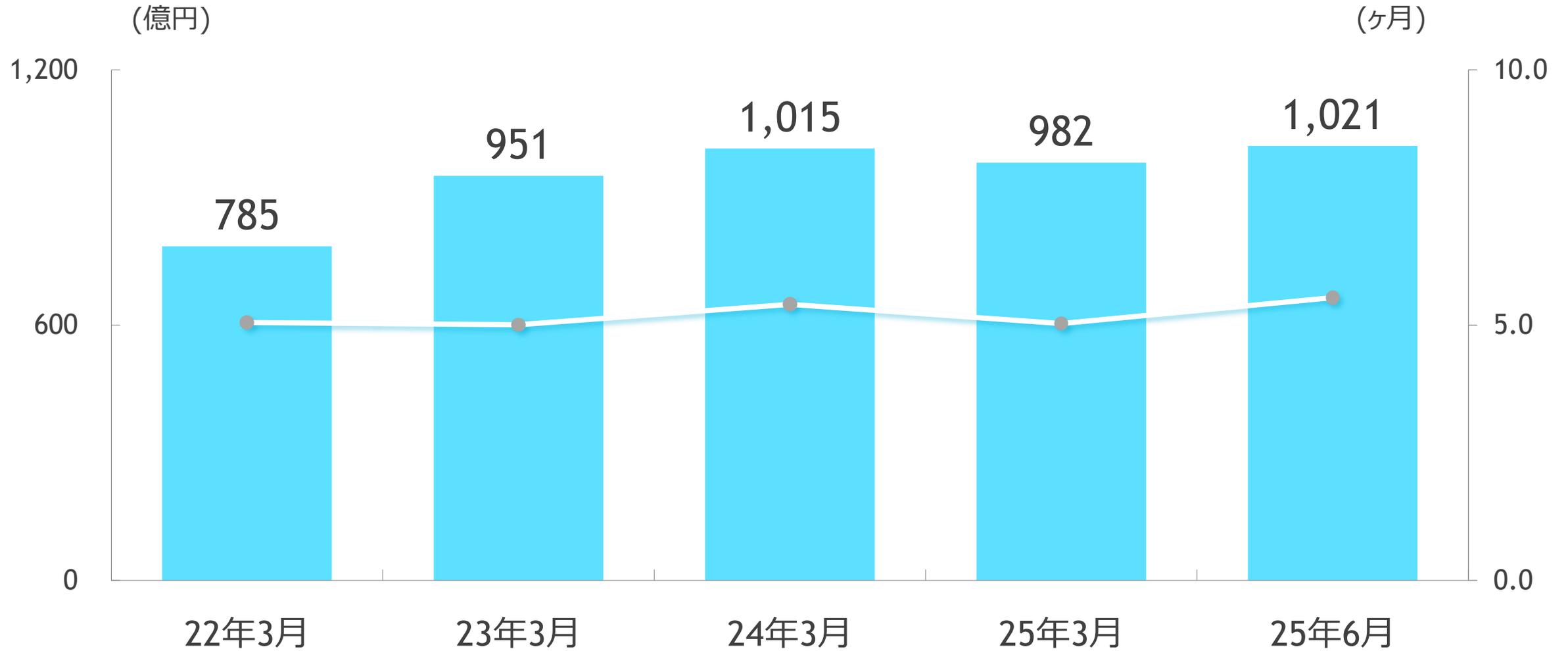
連結貸借対照表主要項目推移（現預金＋有価証券）

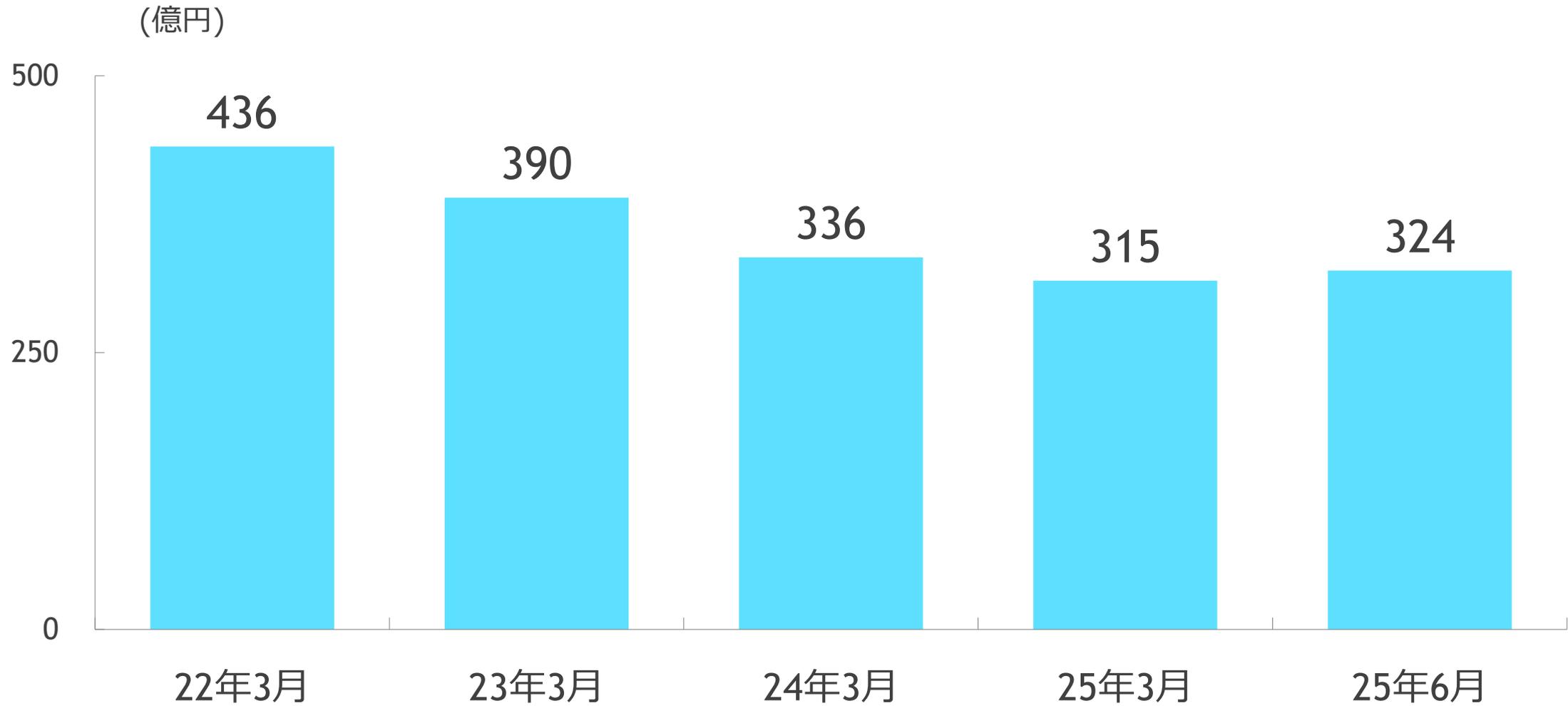


連結貸借対照表主要項目推移（売上債権及び回転月数）

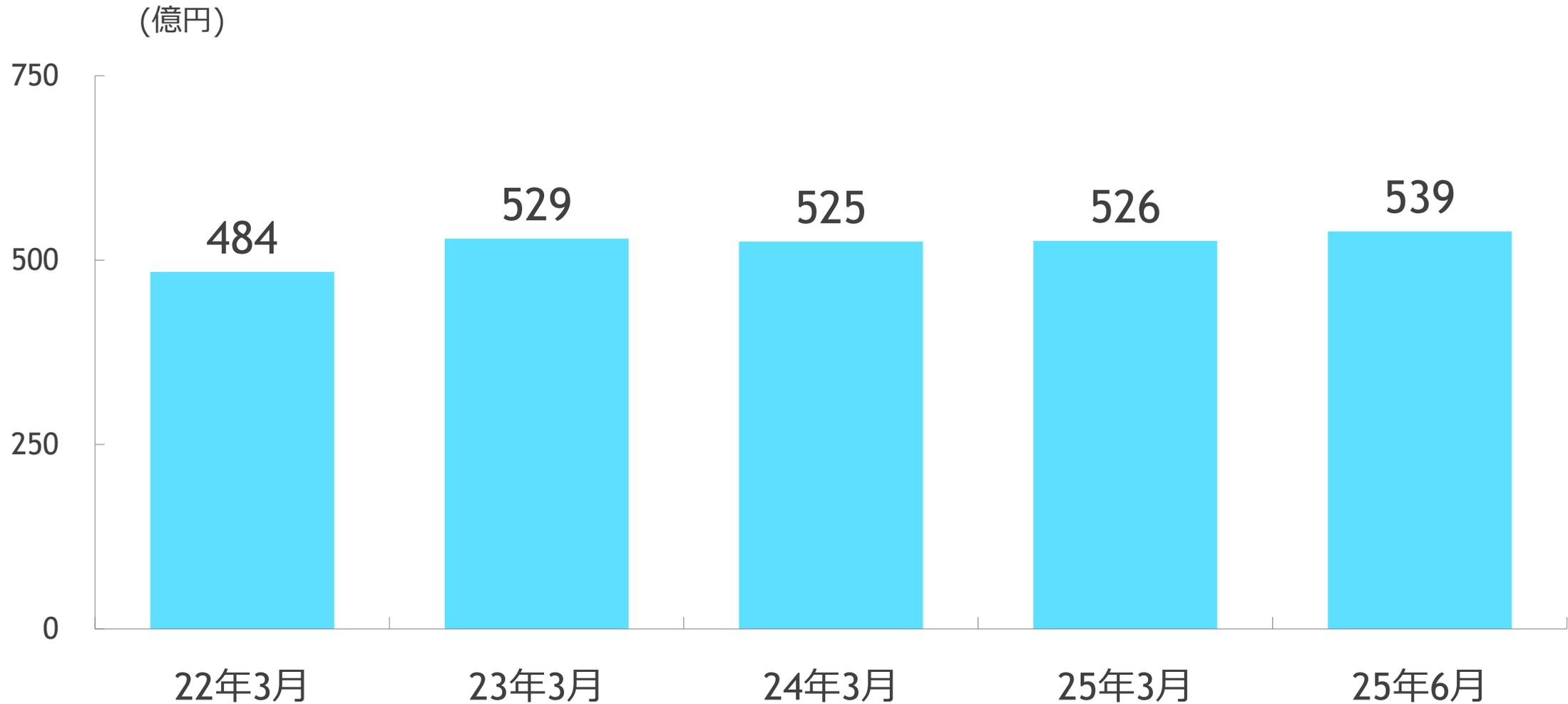


連結貸借対照表主要項目推移（棚卸資産及び回転月数）





連結貸借対照表主要項目推移（有利子負債）





本説明資料に記載いたしました将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績は、さまざまな要因により、記載された見通しと大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供するサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化等があります。なお業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。

